

鍛錬坂



奈留高等学校
学校だより
第 117 号

校長室から

「門出に寄せて」

校長 城 美 博



厳しかった冬の寒さも緩み、日々春の気配を感じる頃になりました。早いもので今年度も残すところ1か月になりました。今年度、創立50周年記念事業を実施するに当たり、学校・地域が一つになって取り組めたことを、私は誇らしく思っております。特に学校のリーダーとして学校を引っ張ってくれた3年生の存在は大きかったと思います。

その3年生が3月1日（火）、晴れて卒業式を迎えます。それぞれ歩む道は違いますが、友人たちと苦楽を共にした学び舎を後にして、未知の大海へと漕ぎ出すことになりました。私は3年生諸君の前途の幸を祈ると共に、今後遭遇する様々な困難を乗り越えてほしいと心から願っています。

ところで3年生諸君、君たちは今はそう感じないかもしれないけれど、ここまで「自分がどれほど周囲に守られてきたか」ということに、今後必ず気づく時が来ることでしょう。そして、社会の中で「自分で自分を守る」ということがどういうことか、身にしみて感じる時がきっとやって来ます。その時こそ、覚悟を決めて人生の試練を乗り越えていかなければなりません。

高等学校を卒業することは、長い人生の中では通過点の一つに過ぎませんが、君たちにとっては初めて迎える広い社会への門出です。そんな君たちを、私はまぶしい思いで見つめています。

さて、君たちは卒業式の朝をどんな思いで迎えることでしょうか。

1学年より

今年度も終わりを迎えようとしています。今年一年で、生徒はどのよう
に成長したのでしょうか。
よく世間では「年をとるにつれて時間が経つのが早く感じる」と言われま
す。これは、年をとることによって「新しい経験」をすることが減っていくからだそうです。確かに私も、環境が大きく変わった年は長く感じるような気がします。そういった意味で、1年生は今年かなり長い1年を過ごしたのではないのでしょうか。なかなかゆっくりと振り返る時間はないかもしれませんが、ふとした時に「そういえば今年是这样いことがあったなあ・・・」なんてことを考えて、自分の成長を生徒自身で感じられるようになってほしいと思う今日この頃です。

2学年より

今日は閏日。つまり、今年が閏年。1日長い1年となります。ちなみに、
閏年は地球の公転周期のズレを調整させるために設定されているものでは
すが、「4年に1度。というわけではないことはご存知でしょうか？」（1度
調べてみてはいかがですか!？）さて、明日はいよいよ卒業式。幼い頃からお世話になった先輩方を祝福すると同時に、2年生の皆さんは最高学年となる覚悟を持ちましょう。最高学年となるにあたって、身に付けておくべき力を確認し、今のうちにズレを修正しておきましょう。ちなみに、今年がオリンピックイヤー。同世代の選手の活躍があることでしょう。燃えろ!2年生!!

3学年より

3年生は、2月1日より家庭学習期間に入りました。そこで、
週に1回登校日を設け、卒業証書授与式の練習や、各種講座を
実施してきました。2月3日には『租税教室』を、10日には『消費生活支援講座』と『年金教室』を実施。内容は、これから一人暮らしをしたり社会に出る上で必要な知識など。初めての土地で新しい生活を始める卒業生にとって、どれも大変貴重なお話でした。また、家庭学習期間に先立ち、Aコースの生徒が最後の調理実習を行い、できた料理を職員も含めた学年全員でいただきました♪どれもとてもおいしく、良い思い出になりました!さて、明日はいよいよ奈留高生として最後の日、卒業証書授与式の日です。どんな表情が見られるのでしょうか…。楽しみです。



3月の行事予定



1 (火)	卒業証書授与式	16 (水)	合格者発表
3 (木)	小論模試 (1年)	17 (木)	創立50周年記念事業 実行委員会⑮
7 (月)	高校入試会場設営 (7日午後より9日まで 学校敷地内立入禁止、 部活動禁止)	22 (火)	競技大会 (午前) 教科書販売 合格者説明会 (午後)
8 (火)	高校入試 (~9日)	24 (木)	修業・離任式
12 (土)	土学⑩		通知表発送

卒業にかかる証明書について—事務室より—

3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。おめでとうございます。
さて、卒業後に卒業証明書や成績証明書などが必要になった場合、通常は事務室窓口で発行
手続きをしていただきますが、島外から郵送を希望される場合は次のようにお願いします。
①まず学校に電話して内容を伝える。
②住所・氏名(旧姓)・電話番号・生年月日・卒業年月日・希望する証明書名と部数を紙
に書く。
③郵便局で350円×証明書の部数の金額の「郵便小為替」を作ってもらおう。
④封筒に届け先の住所氏名を書き、返信用の切手(速達等の場合必要な料金)を貼る。
⑤運転免許証や保険証などの本人確認ができるもののコピーをとる。
⑥上記の②③④⑤を同封して学校へ郵送する。
以上よろしくをお願いします。

小中高一貫教育 推進委員会

1月29日（金）に奈留離島開発総合センターにて、平成27年度奈留地区小中高一貫教育推進委員会を実施いたしました。今年度の奈留地区小中高一貫教育の成果を発表する場で、島内外より多くの方にお越しいただきました。

一貫教育の研究テーマは『キャリア教育による夢・実現』です。キャリア教育という視点を柱に置き、今年度は「学力向上部会」と「人間力向上部会」の2つの部会に分かれ、研究実践を行ってきました。その研究内容や一貫教育について興味がある方はぜひ奈留高校へ御一報下さい。

「奈留の子どもは奈留で育てる」の合言葉の下、次年度以降も一貫教育の更なる推進を目指していきます。地域の方々のご協力をいただきながら、奈留地区オリジナルの一貫教育の姿を創っていかれたらと思います。ご理解・ご協力の程をよろしくお願い致します。

進路指導部より *Dream can do, Reality can do!*

平成27年度第3学期も残すところあとわずかとなりました。3年生は奈留島を旅立ち、4月からは自立した生活を送らなければなりません。これから君たちが歩む道は、決して幸せなことばかりではありません。しかし、高校生活3年間で苦しいことや困難なことを「楽しい」と思えるたくましさ身に付けてきたはずですから、思いっきり人生を謳歌して下さい。さて、1・2年生の皆さんはあと1ヶ月で新学年となります。その準備はできていますか？一つ学年が上がれば、求められる内容も高度になります。まだまだこの1ヶ月でできることは、たくさんあります。新学年を最高のスタートを切れるように、さあ、決して下を向かず、前を向いて「充実している」と思える日々を一緒に作って行きましょう。

奈留高職員 ペンリレー

「オードリー・ヘップバーン」



皆さんは、「オードリー・ヘップバーン」という女優さんを知っていますか？名前は聞いたことある…という人もいるかもしれませんね。彼女は、アメリカの女優さんで、「ローマの休日」等といった、多くの有名な映画に出演し、数々の賞を受賞した方です。私にとって彼女は、憧れでもあり、尊敬できる1人なのです。彼女の残している有名な言葉に「Nothing is impossible. The word itself says "I'm possible". (不可能なことなどないわ。その言葉自体が「私は可能だ」と語っているんだから。)」という言葉があります。その言葉の通り、彼女は多くのことを実現(可能に)しています。何かを始めるとき、できないかもしれない…と不安に感じることもあると思います。しかし、始める前から、「できない。不可能だ。」と決め付けてしまうのではなく、「私にはできる。私には(実現)可能なんだ。」と信じて取り組むことが、自分を成長させるチャンスではないでしょうか。私もこの気持ちを忘れずに、皆さんと成長していきたいと思っています。

主権者教育

選挙権が18歳以上に与えられるというを受けて、2月3日（水）に五島市選挙管理委員会の方々をお招きして、

有権者となるにあたって必要な知識や心構えについて学びました。

投票日の翌日に18歳になる人から選挙権を持つ、自分で選挙運動メッセージをブログ等へ書き込んだり選挙運動メッセージをSNSなどで広めたりすることが選挙活動にあたること、電子メールを通じての選挙運動は立候補者や政党以外の人が行うと違法になることなど、職員も知らないことが多く、大変有意義な学びの時間となりました。お礼の挨拶で、3年の葛島湖々呂さんは「自分の意見を持って清き一票を投じたい」と力強い言葉を発しました。

防犯教室

2月10日（水）、少林寺拳法五島スポーツ少年団部長の宮脇隆治さん、副部長の島禎幸さんをお招きし、防犯教室が実施されました。講

義では、日頃から挨拶を交わすこと。持ち物はできるだけ道路と反対側に持つこと。危険な箇所に近寄らないこと。万が一、襲われた際は、逃げるのが優先であることなどを学びました。また、演習では、襲われた際の護身術を習い、実践を通して、学ぶことができました。非常にわかりやすく、生徒たちも真剣かつ楽しく学ぶことができたようです。写真は護身術を実践している様子です。



保育園実習

2月15日（月）に2年1組の科目「子ども文化」選択生は、さくら保育園へ保育園実習に行ってきました。授業で学んだ絵本の読み聞かせを披露したところ、園児たちは熱心に聞いてくれました。また、プレゼントした手作りのアンパンマンワッペンも気に入ってもらえることができ、高校生と園児の距離もぐっと縮まったようでした。お絵書きやカルタを通して、時間を忘れ、交流を深めました。異年齢の子どもと接する機会が少ないなか、このような機会を与えていただいたさくら保育園の先生方には大変感謝しています。ありがとうございました。



50年の時を越えて 今、新たなる一歩

奈留高校
創設50周年